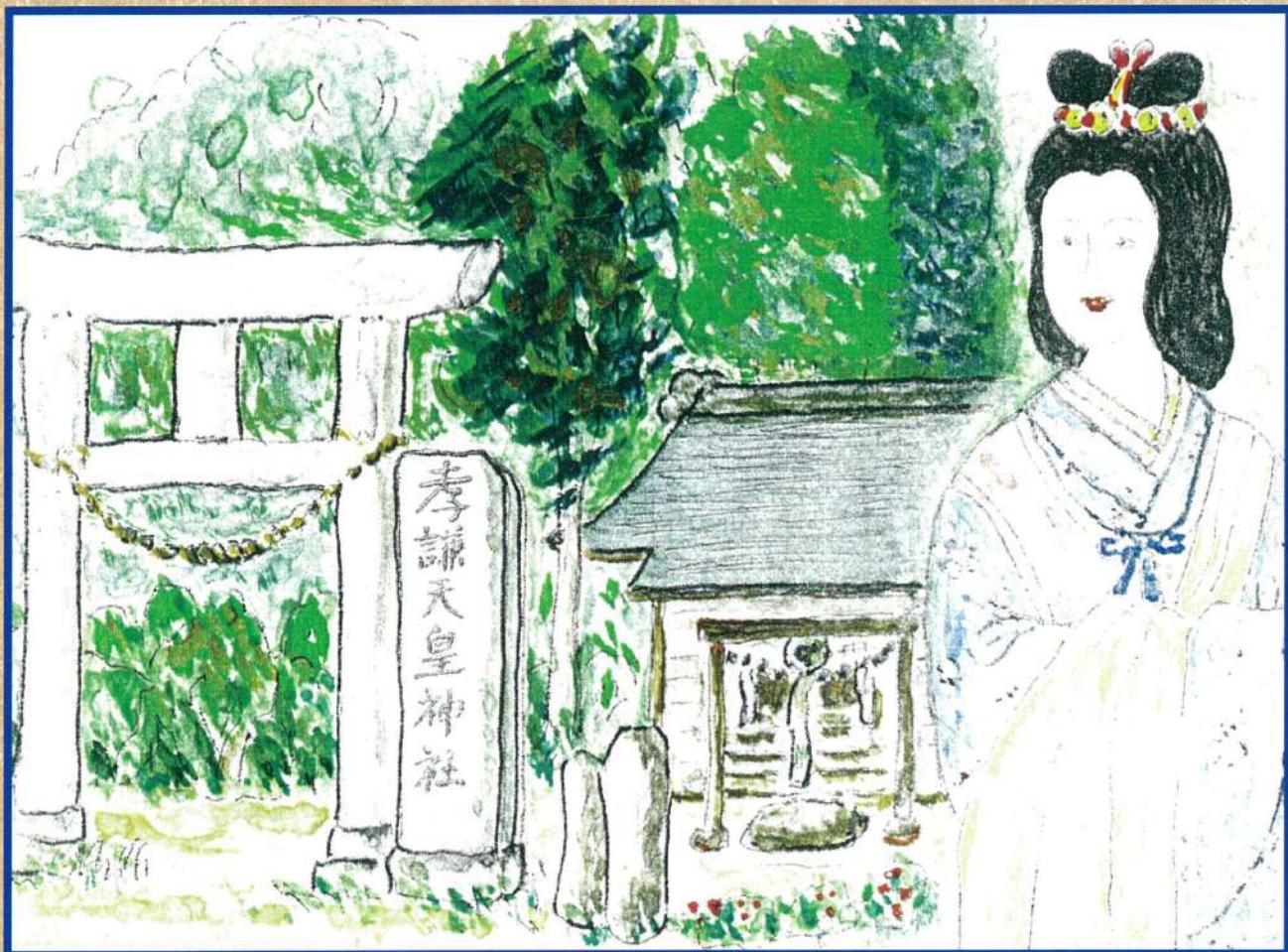


# 道鏡を守る会

～知り、語り、訪ね～

2024年 第49号



孝謙天皇神社 伝73 石川和子さん

会発足40年目に

孝謙の森とも

会誌49号（令和6年）もくじ

おたより・お詫び	関貴与 鈴木暁子 沖田富晴 小林美保 松田尚嗣
高柳紀子 武井淨司 小石房子 荒川隆史 村田和義	高橋亮 岡崎信行 田中昭一 他
探訪旅行余聞	高橋義泰 4
フォトレポート	高橋義泰
龍興寺境内 双林寺（森本裕之）徳一の西光院（高橋義泰）	高橋義泰
追悼 大山幸樹氏	高橋義泰 12
「仏様の言葉」考（前号補充）	木下是良 12
小考・長考	
人間道鏡	田中龍夫 13
蘇る弓削道鏡禪師	不明・故人 14
道鏡祭についての疑問にお答え	小菅大康 15
当該地名の変遷を調べてみました	高橋義泰 15
気になる平成合併後の道鏡伝承	本田義幾 16
蝦夷を意識しながらの道鏡	木下是良 17
蝦夷征東試考	木下是良 19
ちょっぴり小語1—道鏡をまえに	本田義幾 21
ちょっぴり小語2—会友交信から	本田義幾 24
ちょっぴり小語3—神託事件	本田義幾 28
本田氏の質問に答えます	角谷佳則 32
私見日本史の始まり	和氣正芳（故） 33
小石房子さんの本を読んで	田中千恵子・石川和子 36
川島恂二氏（故）の古い手紙より	

守る会にふれた会員会友の本

諸説から弓削道鏡と物部氏……………石上光太郎（故）

辻 正次(故) 38

称徳天皇の宣命を読む……………鈴木康輔（故）：

習宜朝臣阿曾麻呂と和氣清麻呂……………角谷佳則……………

道鏡・下野薬師寺・吉備真備  
木下是良

別当道鏡と下野薬師寺

別当道鏡の裏表紙について

道鏡・孝謙伝承をもとめて（B面）……………本田義幾

饒速日命 物部氏 高橋昭夫

私の知る鬼室福信……………木下是良

高句麗・百濟と大和朝廷……………高橋昭夫

通信・連絡（23年5月）

卷之三



龍興寺山門 左手道鏡塚 (P6)

# 道鏡を守る会会員・友好団体名簿

## 道鏡を守る会会則（抜粋）

### 第一章 名称 目的

第一条 本会は名称を弓削道鏡大禪師を守る会（略称道鏡を守る会）と

称する（以下本会という）。

第二条 本会は、弓削道鏡大禪師に関し誤り伝えられていることを正し、  
あわせて孝謙（称徳）天皇に関することもとりあげることを、その  
第一の目的とする。

小林洋文 平山和昭 森本裕之 山田眞大 大塚泰二郎 山田守男  
久我守義 田口征一郎 外郎藤右衛門 谷山岳新 田中昭一

星見定広 関貴与 須永賢一 金子貴一 大野晃秀 鈴木守治  
津田正明 諸沢信子 石渡延次 飯田彦雄 萩太 木下是良

### 栃木県内

飯野きよ子 近藤純雄 長敬 福田光昭 五味渉光貴 小菅充  
田熊百合子 大島昌弘 大杉清一 興野憲史 伊沢輝芳  
田中千恵子 野口静子 沖田富晴 佐藤紀代子

則ち、戦前の教育は「臣民」育成の手段とされ、歴史上の人物を故意に歪曲した教育がなされた。

戦後、識者の努力で復権された人物もいるが、弓削道鏡大禪師と孝謙天皇については未だ誤った見方が残っている。

歴史の真実を尊重する立場から、誤りのまま後世に引き継ぐことは、民主国家に生きる同時代人として責任を感じるものである。

そこで各地の弓削道鏡大禪師や孝謙天皇についての伝説・伝承をほりおこし、資料を収集・調査し、正しい記録を残していくことに努める。

（年会費三千円）

### 友好団体

下野人形（小山市） 富岡市・長学寺 横浜市・萬松寺  
宮城県栗原市・双林寺 岡山市・願興寺 備前市・高顯寺  
愛媛県上島町・自性寺・弓削神社 京都市・福德寺 奈良市・西大寺  
栃木県下野市・龍興寺 小山市・持宝寺  
栃木市・大神神社・神倉神社

発行 二〇二四年（令和六年）四月七日  
編集責任者 本田 義幾

発行者 本田 義幾  
栃木県連絡所 片岡 秀雄（〇二八五—六三一二八八八）

郵便振替  
02280-2-27056  
道鏡を守る会  
希望額（送料共）1,000円